

問う

代表・一般質問を令和2年2月20日、21日、25日に開会した第1回定例会本会議で行いました。

代表・一般質問

議案の審議に先立ち、各党派を代表する議員と無党派の議員が、区政全般について質問を行い、区政執行にあたる区長をはじめ執行機関の考えを尋ねました。以下、その一部を掲載します。
また、2次元バーコードから、各質問者の録画映像をご覧いただけます。

足立区議会自由民主党

希望に満ち溢れる

令和の時代を目指し!!

自由民主党 吉岡 茂 議員



六町の治安を守る施設を

【問】①(仮称)六町駅前安全安心ステーションの開設まで、あと一年となっている。施設はどのような建物にするのか。
②設計はいつ頃終わるのか。
③開設にあたり、警察との連携はどのように実施していくのか。

「危機管理」

①地上3階建てを予定しており、警察OBの詰め所、青パトや警察のパトカーの駐車場のほか、防犯活動に取り組み方が利用できる打ち合わせスペース等を設置していく。

②令和2年3月19日までの工期となっている。

③令和2年1月、綾瀬警察署と「足立区における区立六町防犯施設の相互連携協力に関する覚書」を締結した。今後も交番の機能に近付けるよう積極的に情報交換を行っていく。



手順書を完成させ災害に備えよ

【問】区は水防体制再構築本部を設置し、5月までには新たな避難所開設手順書を完成させ、訓練の実施にも着手するとして

いる。作成の進捗状況はどうか。

【危機管理】本部において作成した手順書案に、各避難所の居室のあり方等を加味した手順書を、5月末までに完成させる予定としている。

国や都と協働して情報共有を

【問】①新型コロナウイルスに関して、区にはどのような問い合わせが寄せられているのか。
②国や都との協働体制はどのようなになっているのか。

【衛生】①2月19日時点の問い合わせは累計697件で、「検査をしてほしい」「医療機関を受診したい」「マスクを配布してほしい」等が多く寄せられている。

②区ホームページでは、国や都のページとリンクさせて最新情報の発信をしている。

また、都と23区共同で帰国者・接触者電話相談センターを設置し、患者と医療機関の調整を行っている。さらに、都の新型コロナウイルス感染症対応実務者会議説明会にも参加し、情報共有を図っている。

利用者負担の軽減を

【問】①幼児教育・保育の無償化は、施設の制度が異なるため統一した補助制度の構築が難しい。区はどのような考え方に基

づく、支援を拡充していくのか
②一定の実費負担が発生している私立幼稚園の保護者支援につ

いても、利用者負担の軽減を図るべきと主張してきたが、その後の検討状況はどうか。

子ども

①幼稚園・保育園の負担が公平になり、幼児教育・保育を受ける機会を拡大させるという考えに基づき、支援拡充を進めていく。
②空調費等といった実費負担を保育料と併せて月額3万3千円まで、入園料を保護者の所得に

関係なく10万円まで、それぞれ令和2年度から補助を拡充し、利用者負担のさらなる軽減を図っていく予定である。

超少子高齢社会での社会保障と医療充実で安心安全を

自由民主党 白石正輝 議員



【問】①第8期の介護保険料は、最小限の値上げにとどめてほしい。そのための考えを伺う。
②第8期以降の計画について、明確な目標はあるのか伺う。

【福祉】①区人口ビジョンによると後期高齢者は増えていくことが推計されており、堅実な事業運営のため、保険料の引き上げは避けられないと考えている。その上で、算定にあたっては、所得段階や保険料の見直しを行い、上昇を最小限に抑えていく。

②第8期以降の目標については、第6期から第7期への保険料上昇率6.4%とし、目標の実現に注力していく。

【問】特別養護老人ホームに入室を希望している待機者は1千名を超えているにもかかわらず、

早急に特別養護老人ホームの増設プランの作成を

【問】特別養護老人ホームに入室を希望している待機者は1千名を超えているにもかかわらず、

図っていく予定である。

待機児童を出さない継続計画を

【問】待機児童の解消が見込まれる令和2年度以降も、これまでの取り組みの継続が必要になる。子ども・子育て施設の整備、更新を進める上で、区待機児童解消アクションプランの継続計画が必要と考えるがどうか。

【子ども】第2期子ども・子育て支援事業計画の個別の実行計画として、区待機児童解消アクションプランの後継計画の作成を予定している。

将来に対する計画が全くない。

特別養護老人ホームを建てたためのプランを1日も早く立てるべきだがどうか。

【福祉】高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画の策定を進めるとともに、特別養護老人ホームを計画的に増設するための施設整備方針を策定し、緊急性の高い待機者をゼロに近づけるよう努めていく。

【問】1回の採血で10種類以上のがんが特定できるとされるメタバランス検査等の研究が進

められていく。がん検診の導入を

負担の少ないがん検診の導入を

【問】1回の採血で10種類以上のがんが特定できるとされるメタバランス検査等の研究が進

められている。がん検診をすべて受診するのは大変であるため、このような検査が区でも受けられるよう取り組んでいくべきと思うがどうか。

希望あるまちづくりを

【衛生】微量の血液で、がんを

次世代に誇れる足立区へ

自由民主党 くじらい 実 議員



【問】竹ノ塚駅西口には伊興遺跡公園、伊興寺町と歴史・文化を抱えるまちを有している。竹の塚に住み続けたい人だけでなく、訪れたい人を増やす視点も必要と考える。高架下の活用や商業施設等、にぎわいを創出するため、駅周辺のまちづくりをどのように進めていくのか伺う。

【鉄道立体】区が主体となり、広い視点からUR都市機構や東武鉄道とともに、区の施設も活用した竹の塚のまちの将来像を描き、東西が一体となった、にぎわいのあるまちづくりを推進していく。

【問】総合スポーツセンターで開催された「第7回障がい者スポーツフェスティバル」を見学した。障がいのある、なしに関

わらず来場者も例年以上に多かったと聞いている。これだけの集客ができた要因をどう分析しているのか。

【地域】区内小・中学校の全児童・生徒へのパンフレット配布に加え、障がい者施設にも足を運んで説明しながら配布したことで、地域スポーツミーティングを通じてかなり前から口コミで広がっていったこと等が集客増につながった。今後も、人と人のつながりを広げ、さらなる集客へ向けて取り組んでいく。

【問】子どもが通う放課後子ども教室や学童保育室で、日々の宿題や基礎的な学習支援ができるようにすべきだがどうか。

未来の足立を支える

自由民主党 杉本ゆう 議員



【問】子どもが通う放課後子ども教室や学童保育室で、日々の宿題や基礎的な学習支援ができるようにすべきだがどうか。

